

レベル：初級・中級

領域：産業およびその他領域

一般社団法人 日本臨床心理士会臨床心理講座

<日程変更>「シリーズ講座～産業・組織心理臨床基礎研修(全5回)～」

諸般の事情で、第2回と第4回が入れ替わりました。お申込みされる際にはご注意ください。すでに当該回の研修にお申し込みになられている方には、改めてどの研修に参加されるかを確認させていただきます。(2016年6月13日)

1. 目的

このシリーズ講座は、産業・組織心理臨床について学びたい方またはこれから産業・組織心理臨床へ参入を希望する方を対象とした基礎的な研修会です。

産業・組織領域のフィールドは、企業組織だけではなく、地方自治体・警察・団体組織などをも対象とするようになりました。また臨床心理士が組織に関わる必要性は、医療・教育・福祉等のどの領域でもあるのですが、産業・組織領域においては、特に強くそれが求められます。

この講座の主な目的は、以下のようになります。

- 1 産業・組織領域での臨床心理士が、閉鎖的な心理主義に陥らないように、様々な他領域の視点から幅広く学ぶ
- 2 他領域・他職種との連携で成り立ち、いきいきと活性化する産業・組織心理臨床を目指す
- 3 産業・組織心理臨床において、組織に関わるスタンスの重要性を実践的に理解する

毎回、日曜日5時間の研修会です。6回通して、またはご希望の回のみだけでもご参加頂けます。企業現場の実態を知りたい等、多様な関心の方々のご参加をお待ちしております。

2. 日時 平成28年7/10, 8/28, 9/11, 10/9, 11/6, 平成29年1/8 (下表参照)
10:30～16:30 (10:15開場)

3. 会場 太陽館ビル2F (本郷3丁目下車すぐ、東京都文京区)

4. 募集対象・人数 産業・組織心理臨床を学びたい、または今後働くことを希望する臨床心理士 及び大学院生 定員50名

5. 参加費 (1回あたり) 社) 日本臨床心理士会 会員 5,000円
臨床心理士 非会員 8,000円
大学院生 (臨床心理士資格未取得に限る) 3,000円

6. 各回の構成/テーマ/講師

| 回 | 日時 | テーマ | 講師 |
|---|-------------|---|---------------|
| 1 | 7/10 (日) | 産業・組織心理臨床の多様性 産業・組織心理臨床の目的と方法論、M-GTAによるリワークプログラム参加者の変化モデル、分析ワークシートによる組織への関わり実践など | 新田泰生 神奈川大学 |

| | | | |
|---|-------------|--|-----------------------------|
| 2 | 8/28 (日) | 産業保健心理学と産業・組織心理臨床との関わり 職場のメンタルヘルスの国際動向、ポジティブ・メンタルヘルス、経営とメンタルヘルスなど | 島津明人 東京大学 |
| 3 | 9/11 (日) | 厚生労働行政と産業・組織心理臨床との関わり 関連法規（労働安全衛生法）の理解、ストレスチェック・職場環境改善と心理職の役割、メンタルヘルスと法遵守関連法規など | 松井知子 杏林大学 |
| 4 | 11/6 (日) | 産業・組織心理臨床における個人と組織へのアプローチ 職場のメンタルヘルス対策の現状と基礎知識、ストレスチェック制度と個人と組織へのアプローチ、研修を手段とする組織的アプローチなど | 種市康太郎 桜美林大学 |
| 5 | 1/8 (日) | EAPと産業・組織心理臨床との関わり EAPサービスの概要、EAPの導入の手順と運用など | 市川佳居 ピースマインド・イープ（株）、杏林大学 |

NO. 17 シリーズ講座～産業・組織心理臨床基礎研修（全5回）

第1回 産業・組織心理臨床の多様性

1. シリーズ講座の目的:

このシリーズ講座は、産業・組織心理臨床の初学者またはこれから産業・組織心理臨床へ参入を希望する方を対象とした基礎的な研修会です。

産業領域のフィールドは、企業組織だけではなく、地方自治体・警察・団体組織などをも対象とするようになりました。また臨床心理士が組織に関わる必要性はどの領域でもあるのですが、産業領域においては、特に強くそれが求められます。

この講座の主な目的は、以下のようになります。

- 1 産業・組織領域での臨床心理士が、閉鎖的な心理主義に陥らないように、様々な他領域の視点から幅広く学ぶ
- 2 他領域・他職種との連携で成り立ち、いきいきと活性化する産業・組織心理臨床を目指す
- 3 産業・組織心理臨床において、組織に関わるスタンスの重要性を実践的に理解する。

2. 今回の講座の内容等:

現在、産業心理臨床における重要な課題の一つは、うつ病者の復職支援です。その中でもうつ病のリワークプログラムが注目を集めています。リワークプログラムのうつ病参加者9名へのインタビュー記録を修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ（M-GTA）を用いて分析し、その変化過程をモデル図に仕上げた質的研究等をご紹介します。

これらの報告等から、日常の臨床心理実践を、より意識化・「見える化」して、より効果的なものに変えていく、さらにそれを他職種、同僚・後進、組織上層に伝達可能な形に仕上げていく方法を検討します。そのためには、毎日の記録取り、それを分析・考察し、それを他者に伝達可能な概念やモデルに仕上げる方法が必要です。ここでは、修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ（M-GTA）や普段使いの分析ワークシート等を使って、日々の個人心理臨床や組織心理臨床を、蓄積可能な概念に仕上げる手続きを模索します。

後半は実習です。例えばあなたが、ある中小企業でメンタルヘルス体制作りを計画した時、人事課長から「メンタルヘルス体制作りは社員を甘やかし、競争力を低下させる」と言われたとします。あなたはその人事課長の発言とその背景にある組織ダイナミクスをどのようにアセスメントし、どのように人事課長やその組織関わりますか。このような質問に対して、小人数によるディスカッションを中心に進行していきます。

学校や病院、福祉施設、企業などにお勤めの皆さん、そして組織は少し苦手と感じておられる産業分野以外の多くの皆さん、きっと産業心理臨床がお役にたつ面があると思います。初心者の方にも、安心してご参加頂ける研修内容ですので、ご遠慮なくどうぞ。

3. 講師： 新田 泰生 （神奈川大学大学院臨床心理学研究領域）

4. 日時： 平成28年7月10日（日曜日）10:30～16:30（10:15開場）

5. 会場： 文京区本郷2-27-8 太陽館ビル202号室 （財）日本心理研修センター研修室

6. 参加費： 社）日本臨床心理士会 会員 5,000円
臨床心理士 非会員 8,000円
大学院生（臨床心理士資格未取得に限る） 3,000円

7. 募集対象・人数： 産業・組織心理臨床で働くことを希望する臨床心理士/大学院生
シリーズ全体の構成・テーマ・講師等については、研修スケジュールの本講座（NO.17）の
前の欄に表示しておりますのでご参照ください。

8. 研修ポイント 1回につき2ポイントを申請する。

9. 申し込み方法： （社）日本臨床心理士会 WEB ページよりお申し込みください。

<受付手順> WEB 申込で送信してください。



受付けた旨をメールで返信します。

<手順の説明>



受講料のご入金



「受講票」を送信します。

10. 会場及び事務局へのアクセス



会場は、太陽館ビル 202

尚、一般社団法人 日本臨床心理士会事務局は
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-8 太陽館ビル 401

メール：office@jscpp.jp

電話：03-3817-6801 FAX：03-3817-6802

交通機関

1. 「丸の内線」(東京メトロ) 『本郷三丁目』 駅出口から徒歩 1 分
2. 「大江戸線」(都営地下鉄) 『本郷三丁目』 駅出口から徒歩 4 分